２０２６年 第１７週　（４月２０日～４月２６日）の感染症発生動向調査情報

＜今週の内容＞

１　管内の感染症発生状況

２　麻しんについて

３　海外渡航時の感染対策について

１　管内の感染症発生状況

（１）管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）

第１７週は、レジオネラ症が１名報告されました。

（２）定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）

（２０２６年１７週）※定当：定点当たり患者数

インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		COVID－19	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
1	0.33	–	–	3	1.5	14	7	13	6.5	–	–	–	–	–	–	1	0.5	–	–

ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎4(ロタウイルス)		急性呼吸器感染症	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
–	–	–	–	…	…	…	…	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	156	52

※2025 年４月７日から急性呼吸器感染症が追加になりました。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

◆厚生労働省ホームページ

急性呼吸器感染症（ARI）

２　麻しんについて

現在、国内において本年１月から３月 29 日までに 197 例の麻しん発生報告があり、2020 年以降最多となっています。また、海外での流行も継続しており、急激な感染拡大がみられる国・地域も存在しています。

麻しんは、空気感染等により簡単に人から人に感染します。麻しんの免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。２～３日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。麻しんを疑う症状がある時は、医療機関に電話等で麻しんの疑いがあることを伝え、医療機関の指示に従ってください。また、医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

麻しんの予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者（１歳児、小学校入学前１年間の幼児）医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種が住んでいるかご確認ください。

＜感染症に関する情報＞

◆兵庫県ホームページ

麻しん（はしか）について

◆厚生労働省ホームページ

麻しん（はしか）

MR ワクチン

◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

麻しん

麻しんの発生に関するリスクアセスメント（2026 年第一版）

3　海外渡航時の感染対策について

ゴールデンウィークを利用して海外へ渡航される方が増えることが予想されます。

海外においては、我が国に常在しない感染症や我が国よりも高い頻度で発生している感染症が報告されており、海外滞在中にこれらの感染症への感染を防止することが重要です。海外で感染症にかからないようにするために、感染症に関する正しい知識と予防方法を身につけましょう。

＜感染症に関する情報＞

◆厚生労働省ホームページ

海外で健康に過ごすために

海外へ渡航される皆様へ